

第 47 回(H23 年度第 5 回)MT 委員会 議事録

日時: 2011 年 9 月 22 日 13:30-16:10

場所: RIBF 棟 203 会議室

出席: 酒井^a (委員長)、延與^{a,†}、福西^a、林^a(阿部代)、加瀬^a、久保^a、森田^a、櫻井^a、下浦^b、寺西^{c,†}、
上野^a、上坂^a、上叢^a、若杉^a

欠席: 阿部^a、羽場^{a,†}、上垣外^a、久保野^b、本林^{a,†}、吉田^{a,†}

^aRNC / ^bCNS / ^cRIBF-UEC / [†]Observer

(順不同・敬称略。以下同様)

【報告】

1. MT 変更(酒井)

- 和光地区の 9 月以降の電力使用計画の見直しが行われ、仁科センターでは 9/12 より最大 2.8 MW の外部電力の使用を許可する旨 9/7 付けで施設担当理事より所内通知された。これを受け、下期に MT 割り当て待ちであった下記旧 RARF 施設課題を 9 月に追加配分した。なお、10 月以降の最大使用可能電力は 1 MW 減となっている。
 - RI0702-AVF04-27 (Haba *et al.*, AVF-C03, Sep/24/21:00–Sep/26/21:00)
 - RI0702-AVF04-28 (Haba *et al.*, AVF-C03, Sep/27/9:00–Sep/29/9:00)
 - IB0702-RRC01-43 (Abe *et al.*, AVF-RRC-E5B, Sep/30/9:00–Sep/30/12:00)
 - ML0901-RRC20 -08 Izumi *et al.*, AVF-RRC-E5B, Sep/30/12:00–18:00)
- RILAC と RIBF の MT が並走する場合、電力不足が懸念される。センター内で節電協力要請が必要となる可能性がある(加瀬)

2. SHE 実験進捗状況(森田)

上期のこれまでの測定結果が報告された。以前事象が観測された測定と今回のビーム積算量の比較を行い、Z=112 及び 113 元素の生成実験の双方で、統計的有意差は認められないことが確認された。

3. RIBF 運転(加瀬)

- AVF 修理
AVF chamber の O-ring 及び Dee 電極の両方とも交換作業は完了した。 $f=23$ MHz でビームテストを行ったところ問題は見られなかった。 $f=14, 16$ MHz など他の周波数でもテストする。
- RRC 修理
ここまでコイルの層間短絡の箇所が特定出来ていない。秋冬の MT にはこのまま状態で臨むことになる。また、これとは別に、TRIM コイルが故障しており、来週修理完了の予定。

4. PAC 進捗状況(上野)

- NP-PAC
 - 9th NP-PAC: RNC & CNS 両センター長による承認の後、7/20 に実験申請者へ PAC 審査結果を通知した。8/1 に両センター長へ PAC 事務局報告を行ない、全手続きを完了した。MT 申請時間単位、二次ビーム強度表の更新、同一人物による複数課題同時申請・プレゼンに関する

るガイドライン、慣例的に PAC 初日夕方に開催される意見交換会への所内参加者の範囲の拡大、などで今後の改善が必要。

- 10th NP-PAC: 開催日が 12/9-10 日に確定した。9/15 日に call-for-proposals を配信(メ切りは 10/20 日)。
- ML-PAC: 8th ML-PAC 会合を予定通り 9/5-6 に開催。RIBF 利用申請はゼロ件であった。
- In-PAC: 3rd In-PAC 会合を新 TL 着任後の 10 月以降に開催する予定。

【議題】

1. 前回議事録承認(酒井)

2. Machine Study (MS) 及び Detector Development (DD) 審査(酒井)

下期実施希望の新規の MS 及び DD 申請について、実験申請者または代理者によるヒアリングを行い、採否を審議した。

- 下記施設 MS を承認し MT 配分することとした

加速器

- MS11-12 (Hasebe *et al.*, ²³⁸U, RILAC2-RRC, foil baking, 2 days)^{*1}
- MS11-13 (Kuboki *et al.*, ⁸⁶Kr, RILAC, gas stripper tests, 3 days)
- MS11-14 (Sakamoto *et al.*, *d* ↑, AVF, beam study, 1 day)

基幹実験装置 (PAC/TAC等にて評価済の装置が対象)

- MS11-03 (Kubo *et al.*, ¹²⁴Xe, BigRIPS, secondary beam production, 6 days)^{*2}
- MS11-09 (Kubo *et al.*, ²³⁸U, BigRIPS, secondary beam production, 14 days)^{*2}
- MS11-16&17 (Nishimura & Doonenbal *et al.*, ¹⁸O, EURICA commissioning, 2 days×2)

次の2課題は継続審議

- MS11-10 (Yoneda *et al.*, ¹⁸O, SAMURAI commissioning, 6 days)
- MS11-11 (Michimasa *et al.*, ¹⁸O, SHARAQ commissioning, 2 days)
- 下記利用者 DD を承認し MT 配分することとした。
 - DD11-01 (Ishiyama *et al.*, ⁴⁰Ca, AVF, 1 day)^{*2}
 - DD11-02 (Lorusso *et al.*, ⁴⁰Ca, AVF, 6 hours)

^{*1} ビーム供給の為のstripper foil のベーキングであり、審議不要とした

^{*2} これまでのMT委員会で既に審議・承認済み

3. 下期 MT スケジュール(酒井)

- MT 委員会準備会により検討された下期の MT 案が提示され、審議の結果、案を承認することとした(但し、MS については上述の通り一部継続審議)。
- 当該 MT 委員会準備会へは、MT 委員会より福西委員、羽場オブザーバ委員、加瀬委員、久保委員、久保野委員、上野委員、加速器グループ各部担当責任者より中川 TL、奥野副部長、坂本 TL、及び オブザーバとして BigRIPS チームより稲辺先任が参加した。案の策定に際しては 8/11 に開催された会合にて検討を行い、MT 配分要求申請者へ公開した。翌 2 週間コメントや要望を募集し、可能な限りこれを反映した案を策定した。この案に基づき 9/14 に安全審査委員会が開催された。

(上野)

4. 9th NP-PAC 答申に基づく MT キャンセル(上野)

PAC 答申の通り、NP0702-RIBF28(武内)の残日数 2.3 日をキャンセルし、NP1106-RIBF73 (Steppenbeck & 武内)を採択することとした。

5. NP-PAC 課題申請書類における BigRIPS 関連実験の「ビーム調整」の定義(上野)

久保委員より、技術審査の経験によると、tuning with beams の解釈が人によって異なり、tuning with beams に RI ビーム作りが入っているプロポーザルもあればない場合もあるとの指摘があった。どちらを指すのかを明記した上で、更に定義を明確にするため、i) 二次ビーム調整日数を含めて MT 採択すべきか、または ii) データランの部分のみ採択し調整日数は施設側で別途適正な日数を算定し付与すべきかについて検討を要する。ii) の場合、頻繁な二次ビーム調整を要する課題に関して、付与すべき日数に関するガイドラインが必要となる。RIBF-UEC からも意見を募集し、引き続き検討することとした

6. 次回以降 MT 委員会の日程

- 次回 MT 委員会は 10/21(金) 13:30- で調整。
- 次々回は 11/18(金)13:30- で調整。
- 次々々回は 12/16(金)13:30- で調整。

(以上)